



サイエンスフォーラム&グローバルシンポジウム

3月6日の午後、パーシモンホールにて、第5回サイエンスフォーラム&第3回グローバルシンポジウムが行われました。グローバルシンポジウムには、スペシャルゲストとして、オーストラリアの Hillcrest Christian College より Jared 君が参加してくれました。発表生徒たちはこの日の為に準備を重ね、オーストラリア海外語学研修、次世代リーダー育成道場、国際交流活動（マレーシア・インドネシアからの訪問受け入れ、ドイツとのオンライン交流、オーストラリアからの留学生訪問受け入れ）、「英語でジョブチャレンジ」について、英語を交えながら紹介を行いました。会場を大いに沸かせるような場面もあり、大盛況のうちに終了しました。

第3回 桜修館グローバルシンポジウム 成果報告

オーストラリア海外語学研修

私がオーストラリアに実際に行って感じたことは、あきらめずにコミュニケーションを取ろうとする姿勢の大切さです。正直、私はあまり英語の勉強が好きではありませんでした。しかし、オーストラリアでは否が応でも英語を使わざるを得ません。相手の意見を聞くにも、こちらの意見を伝えるにも、英語が必要です。苦勞して何とか言葉が紡ぎ、相手とうまく会話できた時の感動はひとしおでした。



あなたは友人と話している時、スマホの画面に夢中になってついおざなりな返事をしてしまうことはありませんか？
顔と顔を付き合わせて言葉を交わし合う。英会話に限らず普段の会話においても大切なことではないでしょうか。

次世代リーダー育成道場

東京都委員会が実施している「次世代リーダー育成道場」とは、国内事前研修を通して様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生を支援するプログラムです。2022年7月から1年間、英語や留学だけではなく日本の文化や歴史に関する事前研修を受けました。2023年9月から2024年7月までの約10か月間、ホームステイをしながら現地の高校に通いました。また、自身で設定したテーマについて日本と留学先で研究を行い、論文にまとめるゼミナール研究にも取り組みました。今回のシンポジウムでは、アメリカ・カナダに留学を行った生徒がそれぞれの留学を振り返り、日本とは異なる現地の文化や生活、学んだことについて英語で発表を行います。



英語でジョブチャレンジ

2024年8月1・2日に、東京都企画プログラムの一環として読売新聞東京本社で仕事体験を行いました。英語に特化したプログラムだったため、読売新聞社が発行する英字新聞「The Japan News」を制作する現場で、社員の方から英訳のポイントを学びながら記事の翻訳作業を体験しました。また、後半はオリジナルの英文記事を作成するなど、実践的な内容に取り組みました。

今回のグローバルシンポジウムでは、私たちの仕事体験の内容と、そこで得た学びについて紹介します。身近な仕事にも英語が関わっていることを知り、さらに語学を向上させたいと感じていただくと嬉しいです。



国際交流活動

- マレーシア生徒受け入れ (5/23)
Sekolah Dato Abdul Razak 中等教育学校(生徒16名)
発表者: 2年
- インドネシア生徒受け入れ (7/8~7/12)
15~17歳の国内選抜された高校生(生徒6名)
発表者: 4年
- インドネシア受け入れ (9/13)
Junior High School Pembangunan Jaya Jakarta Indonesia(生徒20名)
発表者: 3年
- ドイツ オンライン交流 (12/5)
Bugenhagen Schule Blankenese
発表者: 2年
- オーストラリア生徒受け入れ (12/2~12/5)
発表者: 3年

